

# 信濃学園フェンス改修工事

## 図面リスト

	図番	図面名	SCALE
			A3
意匠図		表紙・図面リスト	
	A-01	特記仕様書-1	----
	A-02	特記仕様書-2	----
	A-03	工事概要・案内図	----
	A-04	改修配置図	1/500
	A-05	改修擁壁詳細図-1	1/30
	A-06	改修擁壁詳細図-2	1/50
	A-07	改修フェンス詳細図-1	1/50
	A-08	改修フェンス詳細図-2	1/50
	A-		
A-			

令和3年 6月



株式会社 県設計



⑦ 塗装改修工事	① 材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量</p> <p>＊規制対象外</p> <p>防火材料 ＊屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。</p> <p>＊次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)</p>	[7.1.3]																																																																																																	
	② 下地調整	<p>塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲</p> <p>＊塗替え面積の30% 図示</p>	[7.2.2~7]																																																																																																	
③ 錆止め塗料塗り	下地調整	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>＊R B種</td> <td>＊R A種</td> <td>＊R B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>＊R B種</td> <td>＊R A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>＊R B種</td> <td>＊R A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>＊R B種</td> <td>＊R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル、プラスター面</td> <td>＊R B種</td> <td>＊R A種</td> <td>＊R B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面</td> <td>＊R B種</td> <td>＊R A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>＊R A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td>＊R B種</td> <td>＊R A種</td> <td>＊R B種</td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	＊R B種	＊R A種	＊R B種	鉄鋼面	＊R B種	＊R A種		亜鉛めっき面	＊R B種	＊R A種		亜鉛めっき面(鋼製建具)	＊R B種	＊R C種		モルタル、プラスター面	＊R B種	＊R A種	＊R B種	コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	＊R B種	＊R A種		コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面		＊R A種		せつこうボード面及びその他ボード面	＊R B種	＊R A種	＊R B種	[7.3.2~3]																																																											
	下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修																																																																																																
塗替え		新規																																																																																																		
木部	＊R B種	＊R A種	＊R B種																																																																																																	
鉄鋼面	＊R B種	＊R A種																																																																																																		
亜鉛めっき面	＊R B種	＊R A種																																																																																																		
亜鉛めっき面(鋼製建具)	＊R B種	＊R C種																																																																																																		
モルタル、プラスター面	＊R B種	＊R A種	＊R B種																																																																																																	
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	＊R B種	＊R A種																																																																																																		
コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面		＊R A種																																																																																																		
せつこうボード面及びその他ボード面	＊R B種	＊R A種	＊R B種																																																																																																	
④ 塗装	<p>錆止め塗料塗りの種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">鉄鋼面</th> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th colspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> <th>＊C種</th> <th>＊A種</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">EP-0以外</td> <td rowspan="2">新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>A種</td> <td>＊C種</td> <td>＊C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>＊A種</td> <td>＊A種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">新規見え隠れ</td> <td>A種</td> <td>＊B種</td> <td>＊B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>＊C種</td> <td>＊C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">EP-0</td> <td rowspan="2">新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>B種</td> <td>＊C種</td> <td>＊C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>＊B種</td> <td>＊B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">新規見え隠れ</td> <td>B種</td> <td>＊B種</td> <td>＊B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>＊C種</td> <td>＊C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-0以外</td> <td>塗替え</td> <td>＊A種</td> <td>＊C種</td> <td>＊C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>＊A種</td> <td>＊A種</td> <td>＊A種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-0</td> <td>塗替え</td> <td>C種</td> <td>＊C種</td> <td>＊C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>C種</td> <td>＊A種</td> <td>＊A種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	鉄鋼面	塗装の種類	塗装面		塗料		工程		塗替え	新規	＊C種	＊A種			EP-0以外	新規鉄鋼面見え掛り	A種	＊C種	＊C種				A種	＊A種	＊A種				新規見え隠れ	A種	＊B種	＊B種				B種	＊C種	＊C種				EP-0	新規鉄鋼面見え掛り	B種	＊C種	＊C種				B種	＊B種	＊B種				新規見え隠れ	B種	＊B種	＊B種				B種	＊C種	＊C種				EP-0以外	塗替え	＊A種	＊C種	＊C種				新規鉄鋼面見え掛り	＊A種	＊A種	＊A種				EP-0	塗替え	C種	＊C種	＊C種				新規鉄鋼面見え掛り	C種	＊A種	＊A種				
鉄鋼面	塗装の種類			塗装面		塗料		工程																																																																																												
		塗替え	新規	＊C種	＊A種																																																																																															
EP-0以外	新規鉄鋼面見え掛り	A種	＊C種	＊C種																																																																																																
		A種	＊A種	＊A種																																																																																																
	新規見え隠れ	A種	＊B種	＊B種																																																																																																
		B種	＊C種	＊C種																																																																																																
EP-0	新規鉄鋼面見え掛り	B種	＊C種	＊C種																																																																																																
		B種	＊B種	＊B種																																																																																																
	新規見え隠れ	B種	＊B種	＊B種																																																																																																
		B種	＊C種	＊C種																																																																																																
EP-0以外	塗替え	＊A種	＊C種	＊C種																																																																																																
	新規鉄鋼面見え掛り	＊A種	＊A種	＊A種																																																																																																
EP-0	塗替え	C種	＊C種	＊C種																																																																																																
	新規鉄鋼面見え掛り	C種	＊A種	＊A種																																																																																																
⑧ 耐震改修工事	該当なし																																																																																																			
⑨ 環境配慮改修工事	<p>1 アスベスト含有建材の処理工事</p> <p>[9.1.1,3~5]</p> <p>施工調査</p> <p>＊アスベスト含有建材の事前調査</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督員に報告する。</p> <p>調査範囲( ) 図示</p> <p>貸与資料( )</p> <p>分析によるアスベスト含有建材の調査</p> <p>分析対象</p> <p>アモサイト、クリソタイト、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <p>＊ JIS A 1481 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による</p>																																																																																																			

2 断熱アスファルト防水改修工事	[9.2.1~3]
3 外断熱改修工事	[9.3.2~4]
4 ガラス改修工事	[9.4.2]

材 料 名	定性分析	定量分析
	・箇所数( )	・箇所数( )
	・箇所数( )	・箇所数( )
	・箇所数( )	・箇所数( )
	・箇所数( )	・箇所数( )

サンプル数 1箇所あたり3サンプル  
採取箇所 図示

アスベスト粉じん濃度測定  
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	計 点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定 4		負圧・除じん装置の排気口	計 点
・	測定 5		処理作業室内(敷地境界線)	計 点
・	測定 6	処理作業後(シト養生中)	処理作業室内	計 点
・	測定 7	処理作業後シト撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点
・	測定 8			計 点

測定方法

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
マフリンφ4φ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	1	5	10
試料の吸引時間(min)	5	120	240

アスベスト含有建材の処理

- アスベスト含有吹き付け材の除去
- 除去対象範囲 図示
- 除去工法 ＊9.1.3(b)(1)による
- 除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止
  - ＊密封処理
  - ＊湿潤化
  - ＊セメント固化
- 除去したアスベスト含有吹き付け材等の処分
  - ＊埋立処分(管理型最終処分場)
  - ＊中間処理(溶融施設)

アスベスト含有保温材の除去

- 除去対象範囲 図示
- 除去したアスベスト含有保温材の処分
  - ＊埋立処分(管理型最終処分場)
  - ＊中間処理(溶融施設)

アスベスト含有成型板の除去

- 除去対象範囲 図示
- 除去したアスベスト含有成型板の処分
  - ＊アスベスト含有せつこうボード
  - ＊埋立処分(管理型最終処分場)
  - ＊アスベスト含有せつこうボードを除くアスベスト含有成型板
  - ＊埋立処分(管理型最終処分場)
  - ＊中間処理(溶融施設)

改修特記仕様書3章による

断熱材		
種類		厚さ(mm)
・ヒート法＊リフレフォーム保温材		
・押出法＊リフレフォーム保温材 (ｽｷﾞﾈｼ)	・保温板(2種b)	
	・保温板(3種b)	
・A種硬質ウレタンフォーム保温材		
・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)		
・ロックウール		
・グラスウール		

施工箇所 図示

ホルムアルデヒド放散量 ＊規制対象外

外装材			
種類	防火性能	備考	
・			

既存外壁の措置

既存外壁仕上げ材の撤去 あり なし

下地面の清掃 行う 行わない

欠損部の改修工法 改修標準仕様書4.1.4による

工法

透気層の有無 あり( mm) なし

断熱材の施工 ＊断熱材製造所の仕様による

外装材の施工 外装材製造所の仕様による

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

＊適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法)

＊適用しない

複層ガラス			
品類	断熱性	日射熱遮へ性	厚さ
・断熱複層ガラス	・1種 U1		・図示
	・2種 U2		・
	・3種 U-3-1 ・U-3-2		

5 断熱・防露改修工事	[9.5.2~3]
6 屋上緑化改修工事	[9.6.1,2,3]
⑩ 透水性アスファルト舗装改修工事	[9.7.2.3.5~9]
8 PCB含有シーリング材処分	

断熱材のホルムアルデヒド放散量 ＊規制対象外

・断熱材打込み工法

種類		厚さ(mm)
・ヒート法＊リフレフォーム保温材		
＊押出法＊リフレフォーム保温材 (ｽｷﾞﾈｼ)	・保温板(2種b)	・25
	・保温板(3種b)	・25
・A種硬質ウレタンフォーム保温材		
・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)		
施工箇所 図示		

断熱材現場発泡工法

断熱材の種類 ＊A種1 ・B種1

厚さ(mm) ・25 ・30

施工箇所 図示

現場発泡断熱材(品質・性能)

工事建築材料等品質性能表による(試験方法)

工事建築材料等品質性能表による

屋上緑化改修工事

植栽基盤及び材料

屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない

定及び地被類の崩壊並びに種類等 ＊図示

見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ＊図示

(品質・性能)

工事建築材料等品質性能表による(試験方法)

工事建築材料等品質性能表による

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

＊適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)

＊適用しない

かん水装置 ・設置する(種類 )

既存保護層の撤去 行う 行わない

適用範囲：歩道 (C) 擁壁改修後の歩道復旧部分)

既存舗装の撤去及び再利用 ＊図示 (C) 既存歩道の舗装は撤去処分のこと

路床

種別	材料	厚さ(mm)
○盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示
	・建設汚泥から再生した処理土	・
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量10%以下)	・図示
		・
○凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン	・図示
	・切込み砂利	・
	・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量10%以下)	・
○フィルター層	・砂	・図示
		・

路床安定処理

＊添加材料による安定処理

種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種

・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号)

添加量 kg/m<sup>3</sup> (目標CBR ・5以上 )

ジオテキスタイル

単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上

厚さ(mm) ・0.5~1.0

引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

透水係数 ・1.5x10<sup>-3</sup> cm/sec以上

試験

砂の粒度試験 行う 行わない

路床土の支持力比(CBR)試験 行う 行わない

路床締固め度の試験 行う 行わない

路盤

路盤の構成及び厚さ 図示

路盤材料 ＊再生材のクラッシュラン

・クラッシュラン鉄鋼スラグ

図示

試験

路盤締固め度の試験 ＊行う 行わない

舗装

種類	材料	厚さ(mm)
ストレートアスファルト		・図示

試験

透水性アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない

舗装の平坦性 ＊著しい不陸がないもの

種類	採取する部位・箇所数	備考
・PCB含有シーリング分析調査(第一次判定)	部 位 箇所数： 箇所	・図示
・PCB含有シーリング分析調査(第二次判定)	部 位 箇所数： 箇所	・図示

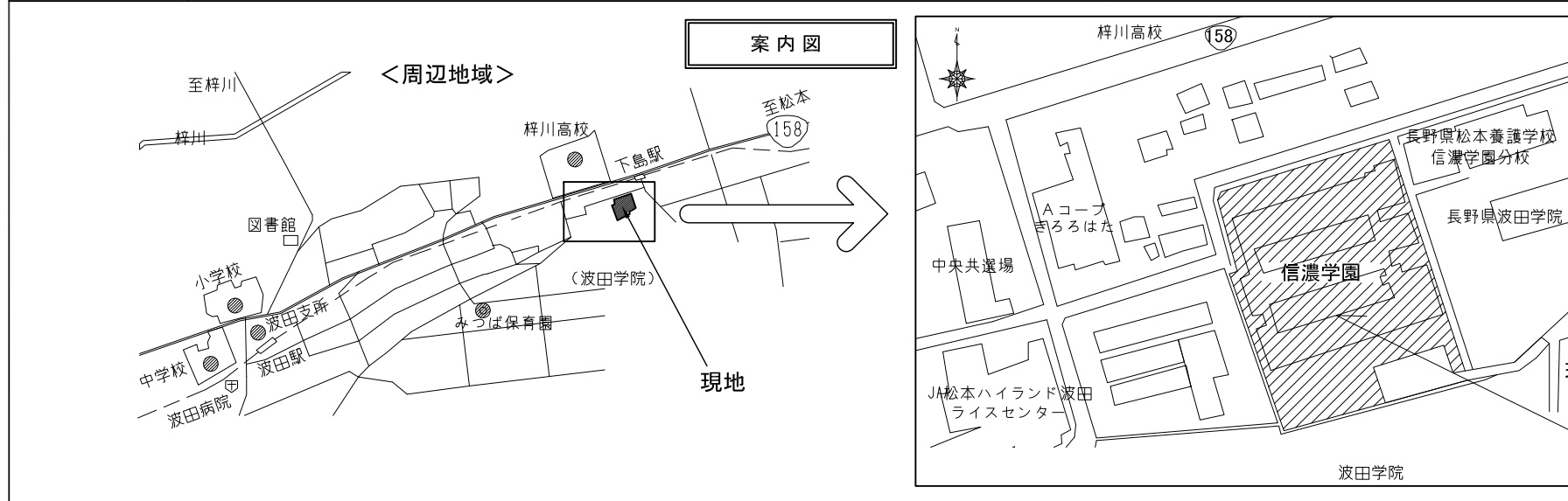
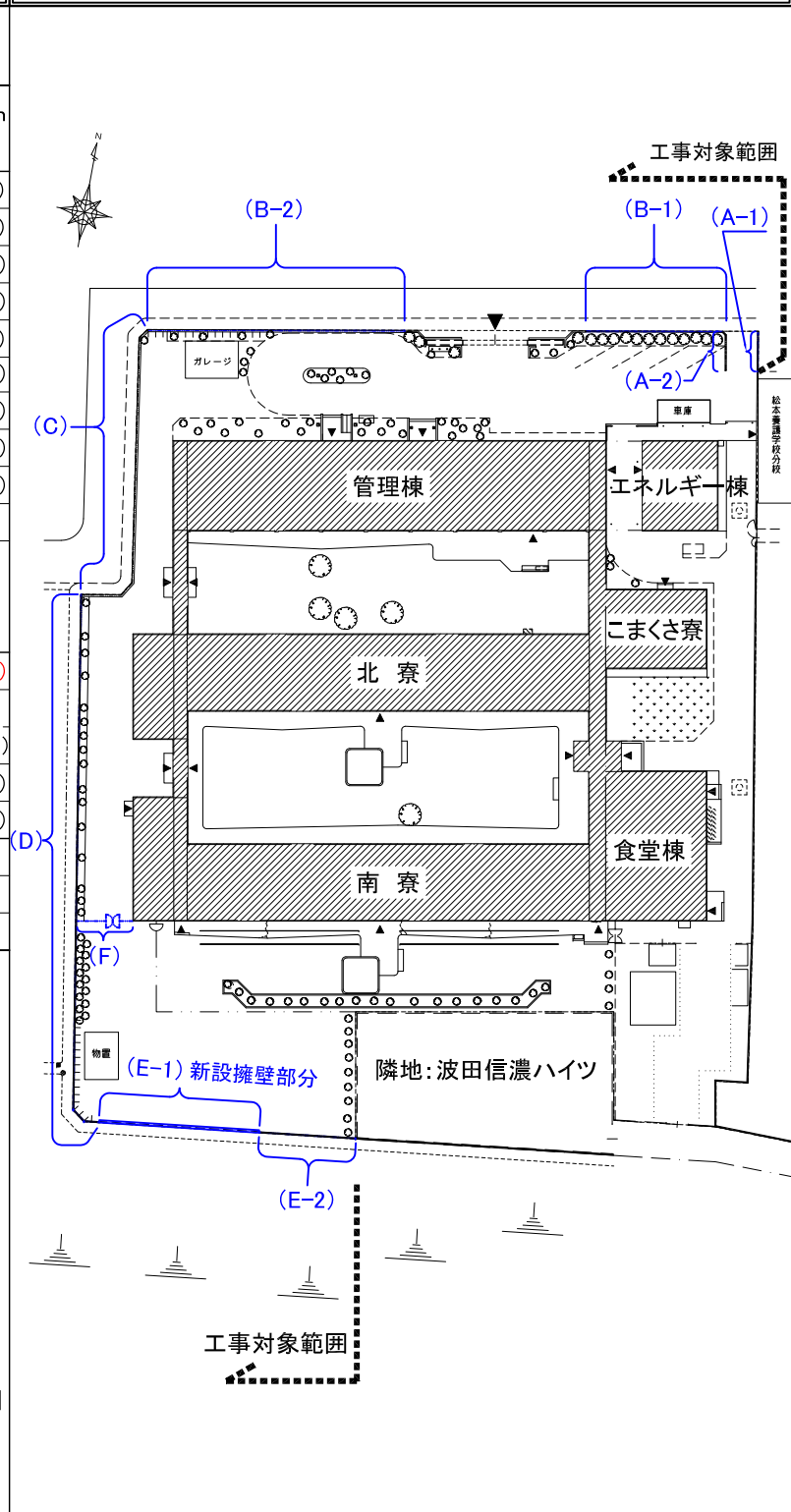
詳細は監督員との協議による

(抜粋 特記仕様書)

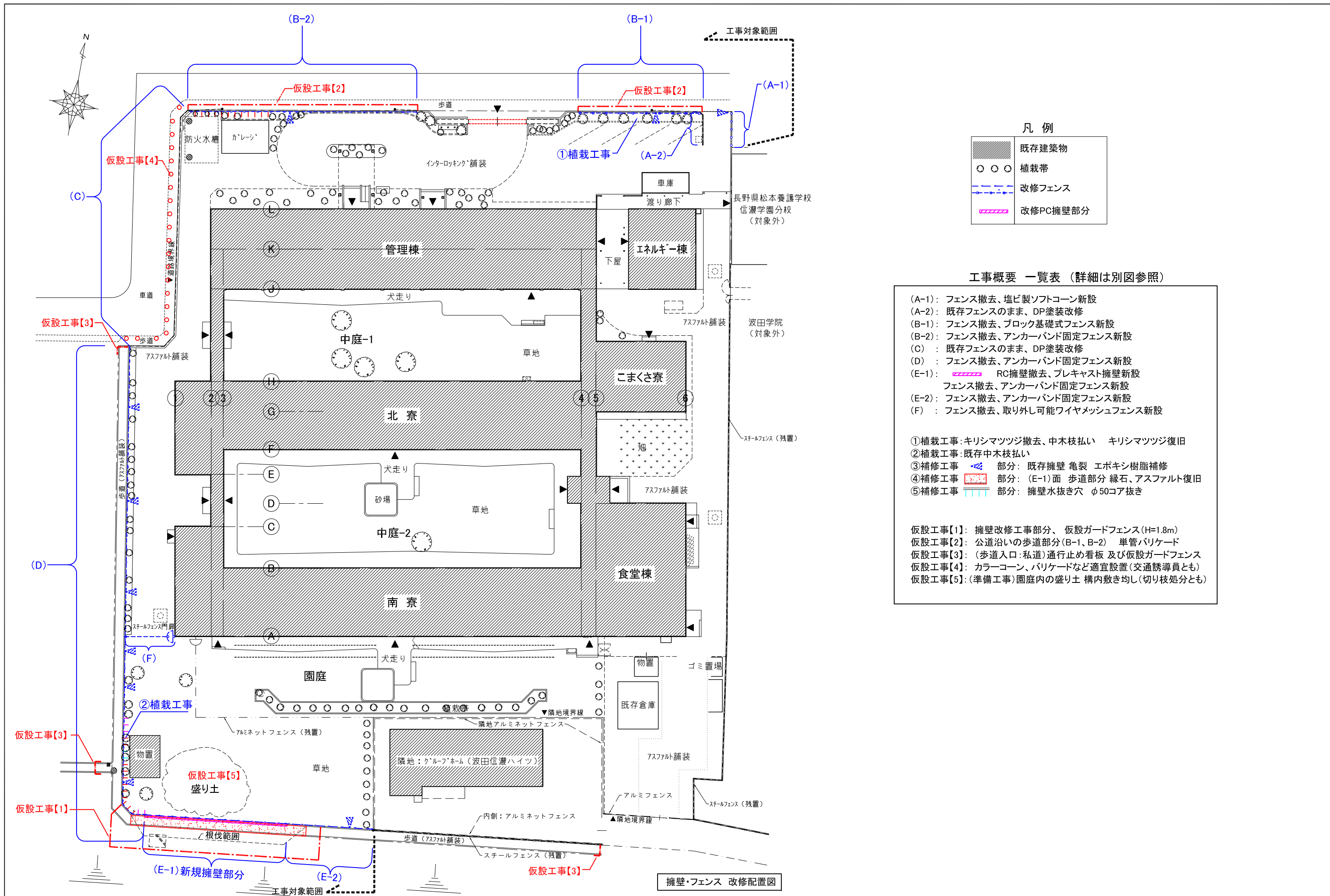
敷地概要	既存建物概要(参考)	摘要
地名地番: 長野県松本市波田4417-8	本棟 床面積: 2596.73 m <sup>2</sup> (参考) 全体延床面積: 2716.73 m <sup>2</sup> (参考)	※ 改修工事全般について 1) 入所者が生活しているため、作業範囲の限定・騒音作業(AM9:00~PM3:00)限定とする。また土日作業は基本的にしないこととする。 2) 軽微な補修・修繕などは本工事の範囲内とする。雑草など茂っている範囲も除去など含めて工事範囲内とする。 3) 再利用可能な仕上材は監督員と協議の上、再利用も考慮する。(植栽の移植など) 4) 新設フェンスや既存フェンスとの取り合いは現場合わせとする。また必要に応じての現場溶接は、監督員と協議を行い 周囲を覆って施工すること。 5) 公道に面するフェンス設置工事における歩道使用について関係諸官公庁と事前協議のこと。 6) フェンス工事は可能な限り、新設アンカーバンド式フェンスを先行取り付けし、その後 既存フェンスを撤去して最後に取り付けを補修すること。 7) 構内の支障となる樹木は部分的な枝払いは可とする。(中伐採は許可を得る事。) 8) 建築基準法およびその他の関係法令を遵守すること。
用途地域: 無指定	構造・規模: 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 平屋建て(準耐火建築物:ロー2)	
敷地面積: 10374.84m <sup>2</sup> (S59年:信濃学園外構その他工事 設計図による)	最高高さ/最高軒高: 7,345 / 4,100 (南寮・北寮)	
防火地域: (22条指定区域)	既存機械設備: ・給排水 ・衛生 ・換気(ロスナイ) ・空調 ・LPG ・床暖房 ・ソーラー給湯設備 ・厨房設備一式	
定期報告: 2016、2019 実施済み	既存電気設備: ・一般照明 ・非常照明 ・弱電設備 ・放送設備 他	
指定建蔽率: 60% / 容積率: 200%	既存消防設備: ・スプリンクラー ・自動火災報知設備 ・誘導灯 ・消火器 ・非常放送	

**工事概要 (擁壁・フェンス改修工事)** 改修内容 キープラン

部位	撤去工事 (既存長さ/ 既存支柱本数)	改修工事	(改修長さ/ 新規支柱本数)	
擁壁 (E-1)	・既存コンクリート製擁壁変形箇所(高低差1.2m 厚さ150mm) 解体、撤去、処分 ・擁壁解体に伴い、歩道アスファルト舗装(1.5m幅員)・緑石 撤去、処分	■新規プレキャスト擁壁 設置 (裏込め砕石、水抜き穴、埋戻し共) ■新規擁壁周りの歩道 復旧 (透水性アスファルト舗装、緑石共)	■新規擁壁: 22.0m ■新規AS: 40m <sup>2</sup>	
フェンス (スチール製) 	(A-1) 乗入れスロープ(外側)フェンス: 撤去、処分・擁壁天端:RCカッター切断、はつり取り	(A-1) ソフトコーンM(ベース無しタイプ)×5本 H=650 アンカー止め 新設	(ソフトコーン 5本)	
	(A-2) 乗入れスロープ(内側)フェンス: 既存のまま (横繋ぎ材カッター切断)	(A-2) 既存フェンス錆処理の上、DP塗装改修(※3)	(←)	(←)
	(B-1) 北側フェンス: 撤去、処分 (支柱埋込み部分:カッター切断)	(B-1) ブロック基礎式(※1)フェンス新設、既存支柱撤去跡グラウト補修	(18.50m/10本)	(18.50m/10本)
	(B-2) 北側フェンス: 撤去、処分 (支柱埋込み部分:カッター切断)	(B-2) アンカーバンド固定(※2)フェンス新設、既存支柱撤去跡グラウト補修(※4)	(33.50m/18本)	(33.50m/18本)
	(C) 西側フェンス【公道に面した部分】: 既存のまま (横繋ぎ材カッター切断)	(C) 既存フェンス 錆処理の上、DP塗装改修(※3)	(←)	(←)
	(D) 西側フェンス【私道(歩道)に面した部分】:撤去、処分(※A)(支柱埋込部:カッター切断)	(D) アンカーバンド式フェンス新設、撤去跡グラウト補修(※4)	(72.50m/40本)	(72.50m/40本)
	(E-1) 南側フェンス【既存擁壁変形部分】: 擁壁とともに撤去処分	(E-1) アンカーバンド固定フェンス新設(新規PC擁壁面)	(22.00m/12本)	(22.00m/12本)
	(E-2) 南側フェンス【既存擁壁部分】: 撤去、処分 (支柱埋込み部分:カッター切断)	(E-2) アンカーバンド固定フェンス新設、既存支柱撤去跡グラウト補修(※3)	(13.00m/8本)	(13.00m/8本)
(F) 園庭入口フェンス: フェンス扉とも撤去、処分	(F) 取り外し可能ワイヤメッシュフェンスH=1500 鞆管理め込み式(片持ち固定扉共)	(図示による)	(図示による)	
※A 柱脚補強プレート(3か所程度)も同じく撤去処分		※1: 支柱50×30@2000、基礎180×180×450埋込 ※2: 支柱50×100@2000、ホークカットアンカーM12、バンド2段固定 ※3: 既存フェンスとの取り合い部分: 補強プレート等にて横架材(2段)現場溶接(4か所) ※4: 既存擁壁の目地(ジョイント)部分: 縁切られた両側にフェンス支柱設置のこと。(上記本数に含む)		
植栽工事	① (B-1)に面する植栽帯部分: 既存キリシマツツジ 撤去(一部イチイ枝払い:6本)	① (B-1)に面する植栽帯部分: キリシマツツジ 密植	(22m <sup>2</sup> 程度)	
	② (D)に面する植栽帯部分: 既存中木 枝払い	---	(10本程度)	
補修工事	③ 既存擁壁 亀裂部分: 亀裂や一部剥離箇所などコンクリート劣化面の除去、清掃	③ 既存擁壁 亀裂部分: 亀裂幅1mm以上=エポキシ樹脂補修(Uカットシール)	(L=300,10箇所程度)	
	④ (E-1)歩道部分: 擁壁撤去部分の歩道アスファルト(φ50)及び緑石撤去、処分	④ (E-1)歩道部分: 擁壁築造後歩道復旧、浸透性アスファルト舗装φ50	(幅1.5m×26.0m)	
	⑤ 擁壁水抜き穴 不明部分: 擁壁面水抜き穴 調査	⑤ 擁壁水抜き穴 欠落箇所: 既存擁壁面鉄筋調査後、水抜き穴(コア抜きφ50)	(30÷@2m=15箇所)	
仮設工事 その他	仮設工事【1】: 擁壁改修工事部分、仮設ガードフェンス(H=1800)約45m	仮設工事【4】: 通行人に支障をきたす恐れある箇所はカーブーン、バリケードなど適宜設置のこと。		
	仮設工事【2】: フェンス改修工事部分(B-1、B-2部分) 単管バリケード 約55m	(交通誘導員も適宜配備のこと。2名×10日間程度)		
	仮設工事【3】: フェンス改修工事部分(歩道入口)通行止め看板 及び仮設ガードフェンス(H=1800)×3か所	仮設工事【5】(準備工事):園庭内の盛り土: 構内敷き均し(150m <sup>3</sup> 程度)、(切り枝・雑草等処分とも)		



現地:長野県松本市波田4417-8  
 社会福祉法人 長野県社会福祉事業団  
 福祉型障害児入所施設 信濃学園



凡例

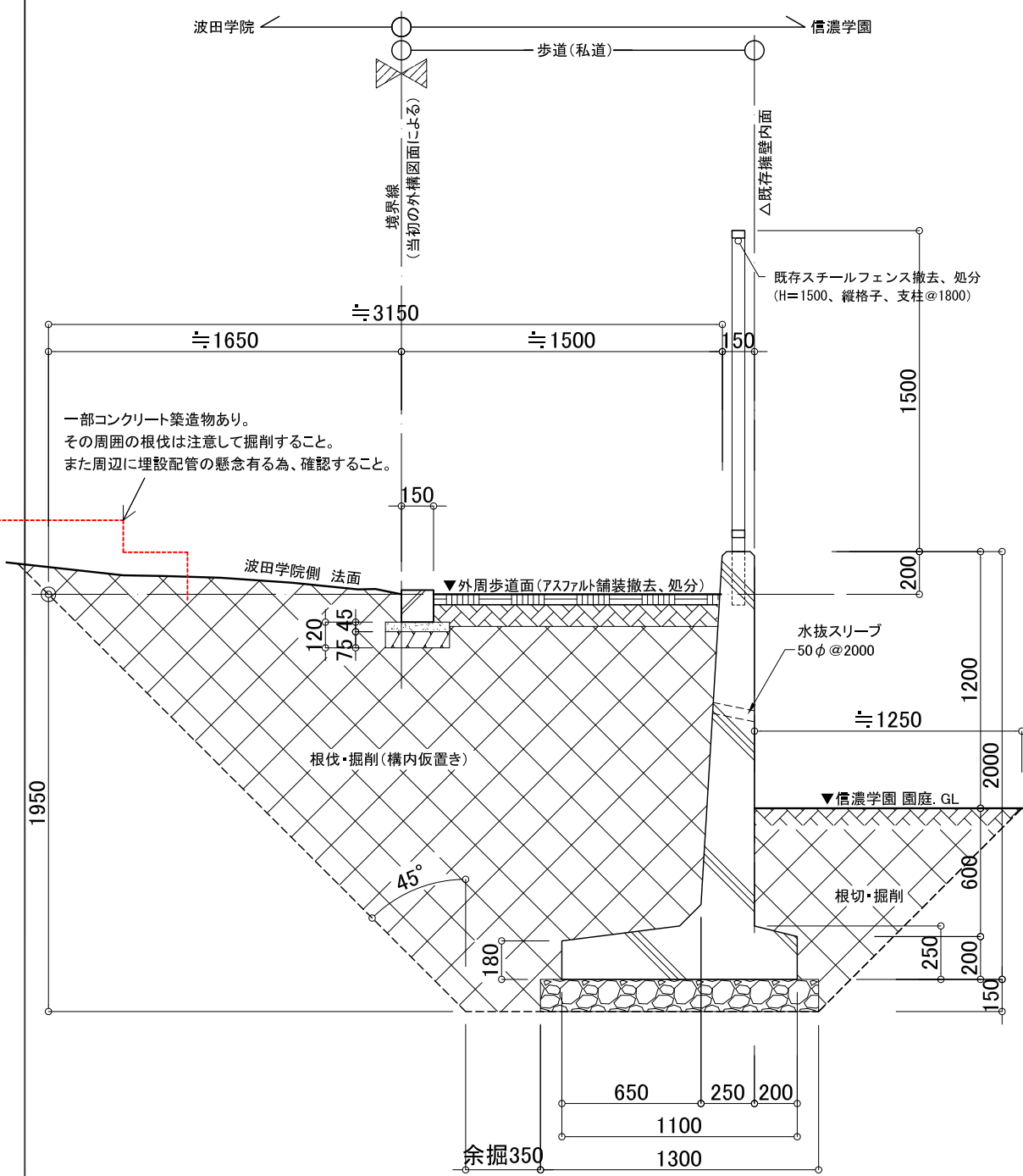
	既存建築物
	植栽帯
	改修フェンス
	改修PC擁壁部分

工事概要 一覧表 (詳細は別図参照)

- (A-1): フェンス撤去、塩ビ製ソフトコーン新設
  - (A-2): 既存フェンスのまま、DP塗装改修
  - (B-1): フェンス撤去、ブロック基礎式フェンス新設
  - (B-2): フェンス撤去、アンカーバンド固定フェンス新設
  - (C): 既存フェンスのまま、DP塗装改修
  - (D): フェンス撤去、アンカーバンド固定フェンス新設
  - (E-1): RC擁壁撤去、プレキャスト擁壁新設  
フェンス撤去、アンカーバンド固定フェンス新設
  - (E-2): フェンス撤去、アンカーバンド固定フェンス新設
  - (F): フェンス撤去、取り外し可能ワイヤメッシュフェンス新設
- 
- ①植栽工事: キリシマツツジ撤去、中木枝払い キリシマツツジ復旧
  - ②植栽工事: 既存中木枝払い
  - ③補修工事 部分: 既存擁壁 亀裂 エポキシ樹脂補修
  - ④補修工事 部分: (E-1)面 歩道部分 縁石、アスファルト復旧
  - ⑤補修工事 部分: 擁壁水抜き穴 φ50コア抜き
- 
- 仮設工事【1】: 擁壁改修工事部分、仮設ガードフェンス(H=1.8m)
  - 仮設工事【2】: 公道沿いの歩道部分(B-1、B-2) 単管バリケード
  - 仮設工事【3】: (歩道入口:私道)通行止め看板 及び仮設ガードフェンス
  - 仮設工事【4】: カラーコーン、バリケードなど適宜設置(交通誘導員とも)
  - 仮設工事【5】: (準備工事)園庭内の盛り土 構内敷き均し(切り枝処分とも)

擁壁・フェンス 改修配置図

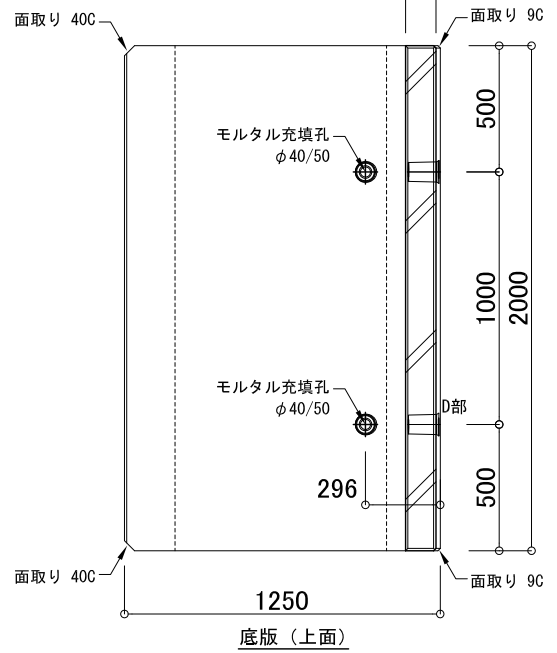
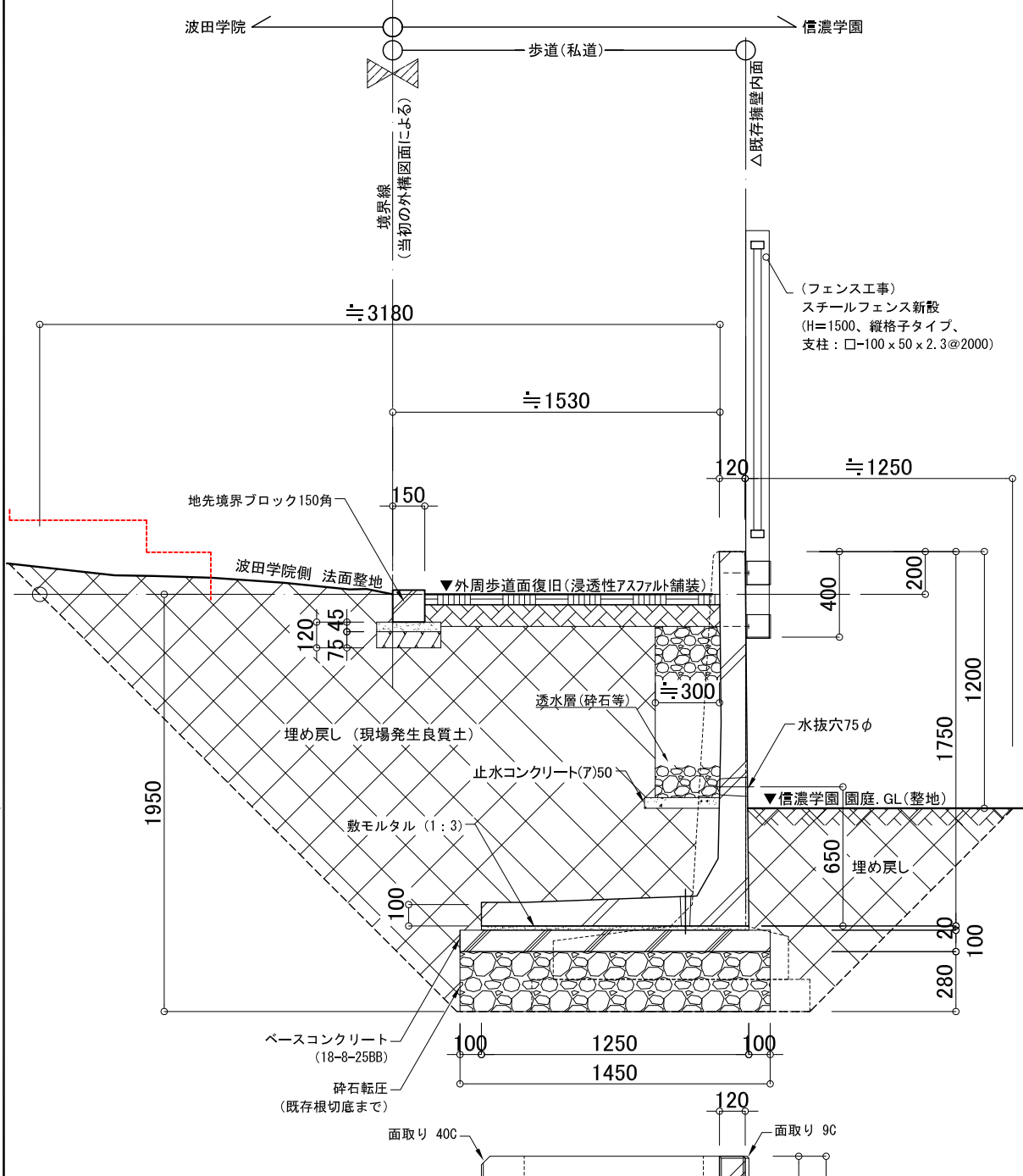
既存図(昔の設計図のトレース:裏込め透水層 表記無し) 全22m



(既存擁壁配筋)

	長辺	短辺
ベース上端筋:	D10@300	D10@300
ベース下端筋:	D10@300	D10@250
擁壁 縦筋:	D10@250(端部筋:1-D13)	
擁壁 横筋:	D10@300(天端筋:1-D13)	

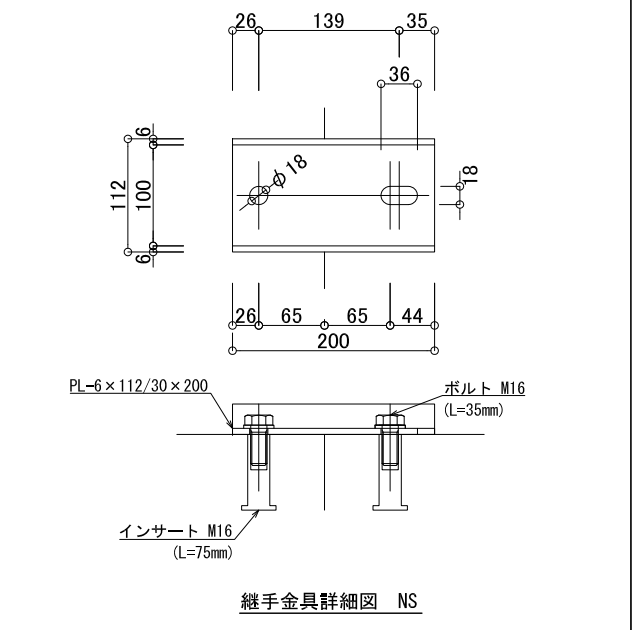
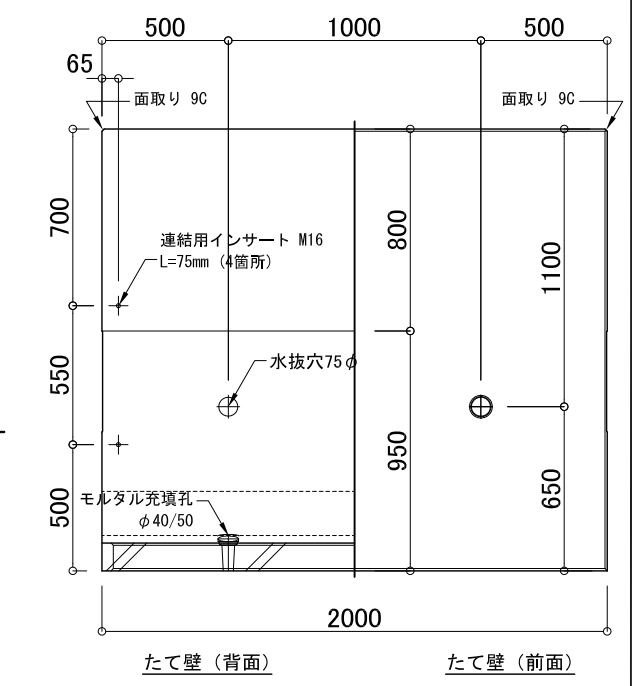
改修図(プレキャスト擁壁) 全22m

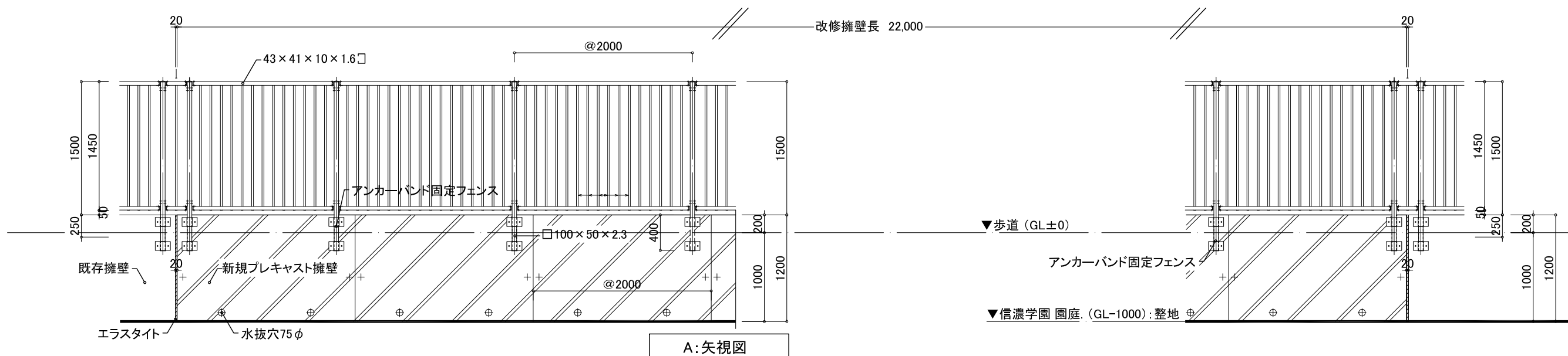


材料表

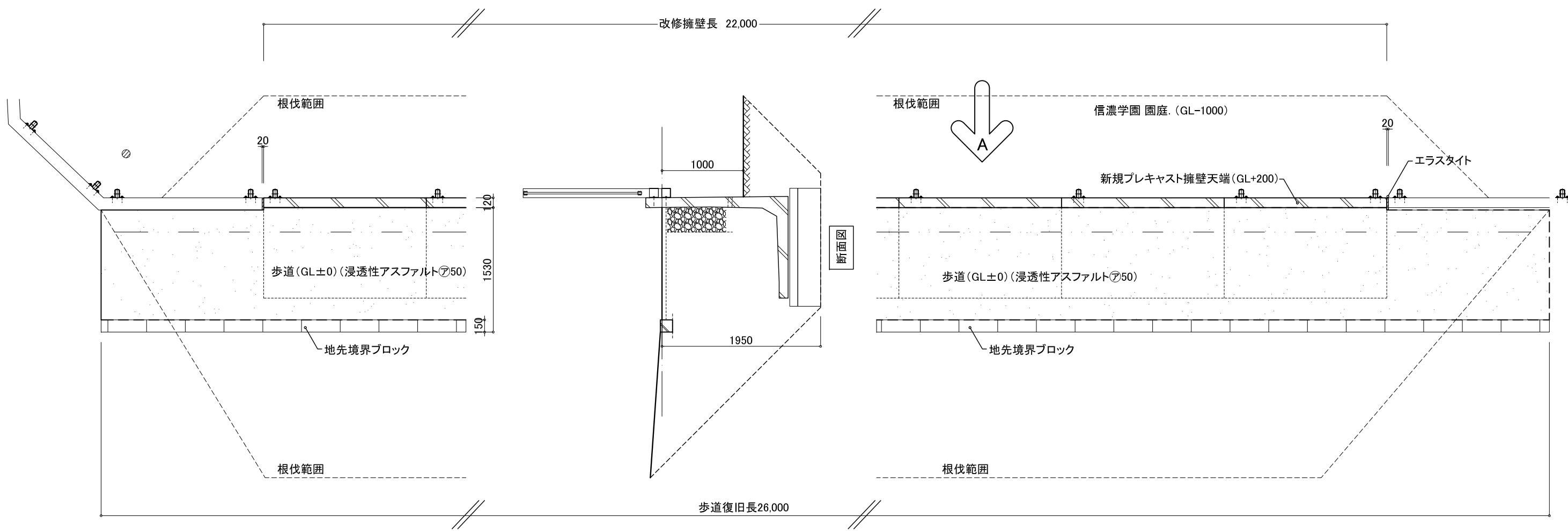
名称	規格	計算式	単位	1m当り数量	全22m数量
HDウォール	1750×1250	1÷2	枚	0.5	11
敷きモルタル	1:3	1×1.25×0.02	m <sup>3</sup>	0.025	0.55
ベースコンクリート	18-8-25BB	1×1.45×0.1	m <sup>3</sup>	0.145	3.19
型枠		1×0.1×2	m <sup>2</sup>	0.2	4.4
砕石基礎 t=280	RC-40	1×1.45	m <sup>2</sup>	1.45	31.9

※ 擁壁背面には適切な排水工(透水層又は透水マット)を施すこと。  
 ※ 既存擁壁との接合部(両端)にはエラストイト20mm設置のこと





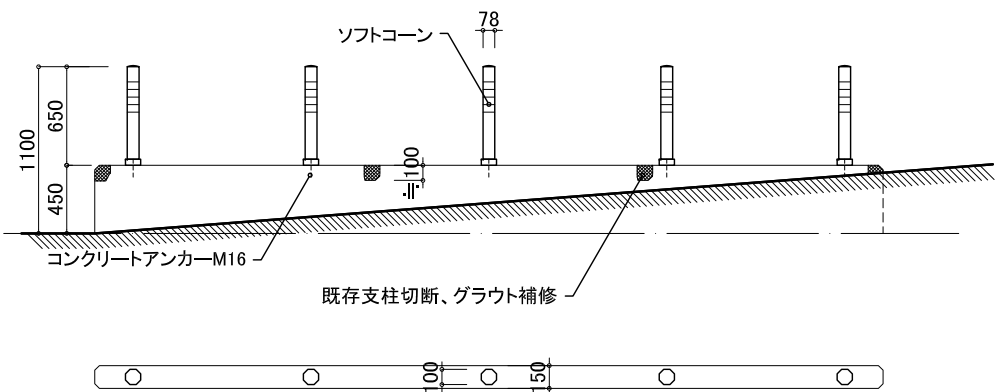
A: 矢視図



新設擁壁・フェンス平面図

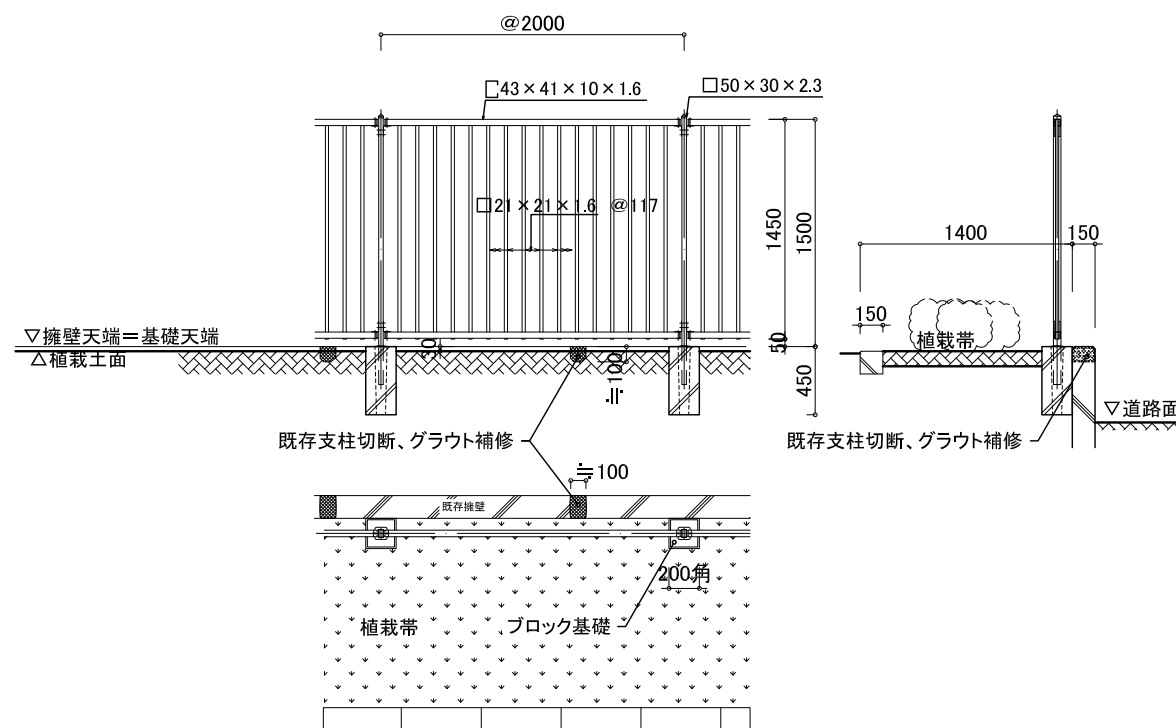
A-1: ソフトコーン

ポリウレタン製ソフトコーンM(ノンベースタイプ)同等品



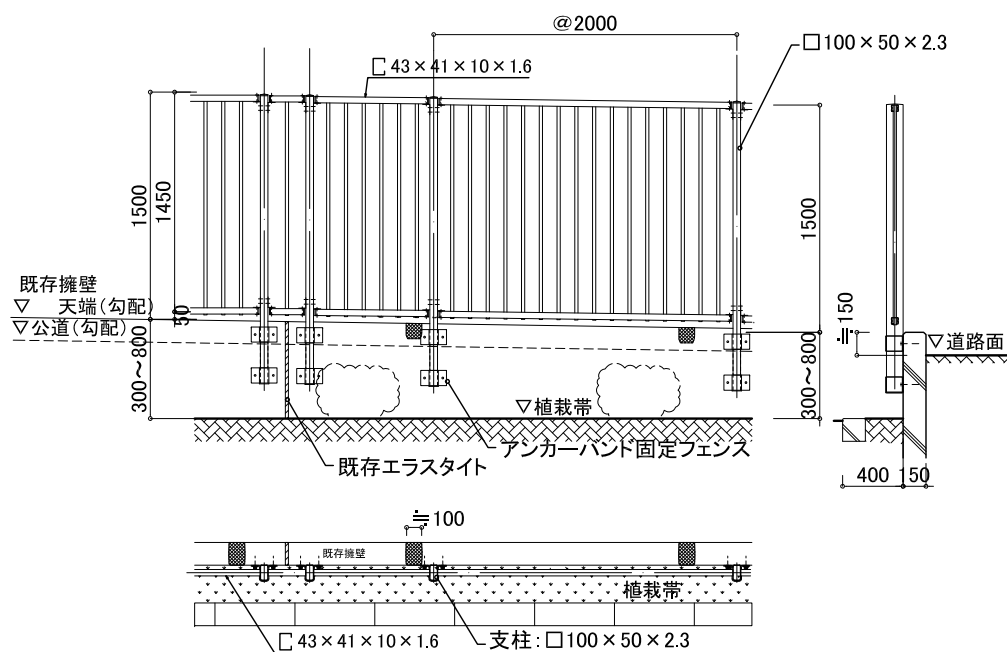
B-1: ブロック基礎式フェンス

朝日スチール工業(株)PS-FC1500(格子フェンス)同等品



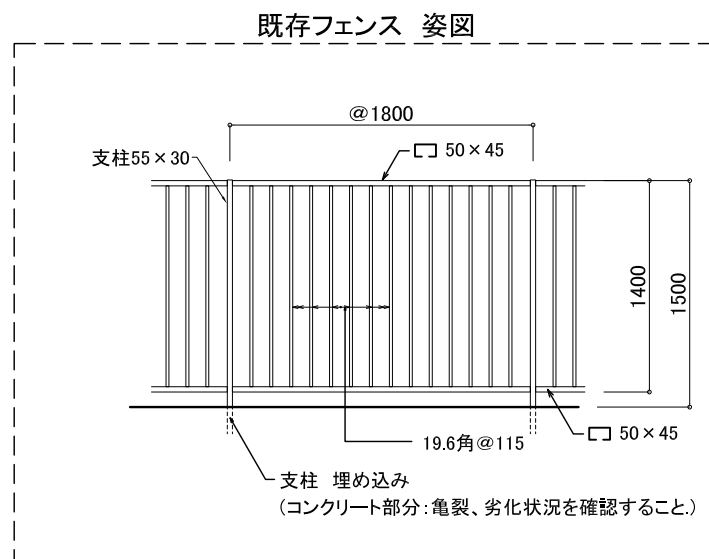
B-2: アンカーバンド固定フェンス

朝日スチール工業(株)PS-FC1500(格子フェンス)同等品



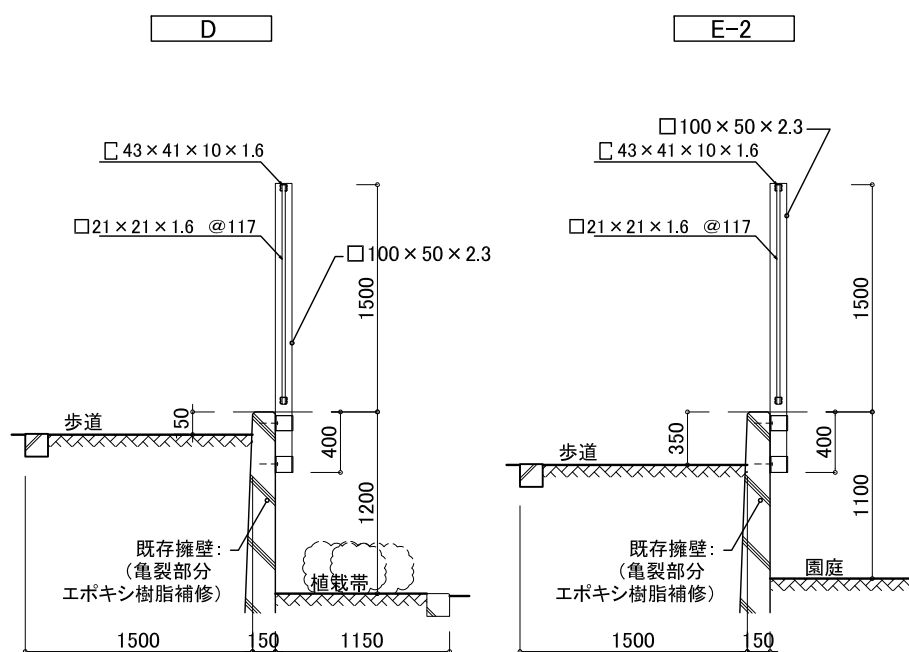
A-2・C : 既存フェンス 塗装

スチールフェンス DP塗装

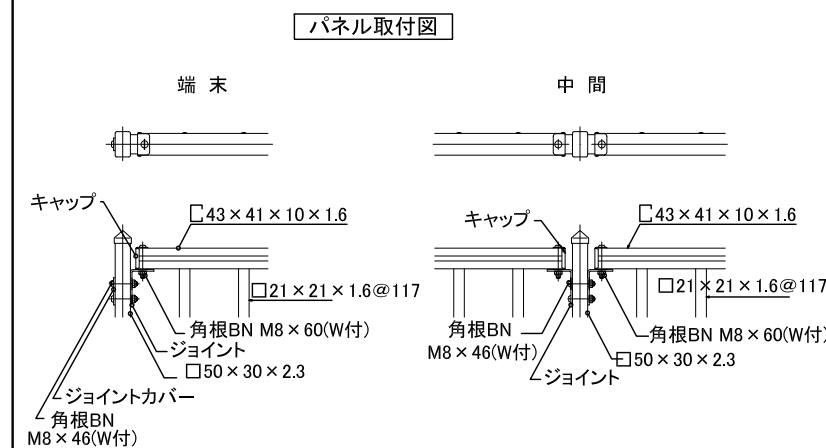


D・E-2: アンカーバンド固定フェンス

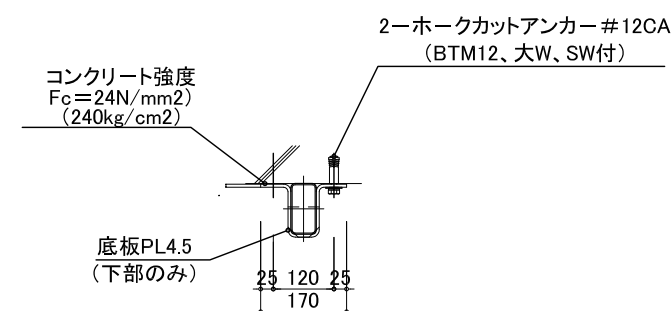
朝日スチール工業(株) (格子フェンス)同等品



スチールフェンス共通



アンカーバンド取付図



設計条件 (スチールフェンス共通)

設計荷重...昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。  
基礎条件...長期許容地耐力 98kN/m2(10t/m2)

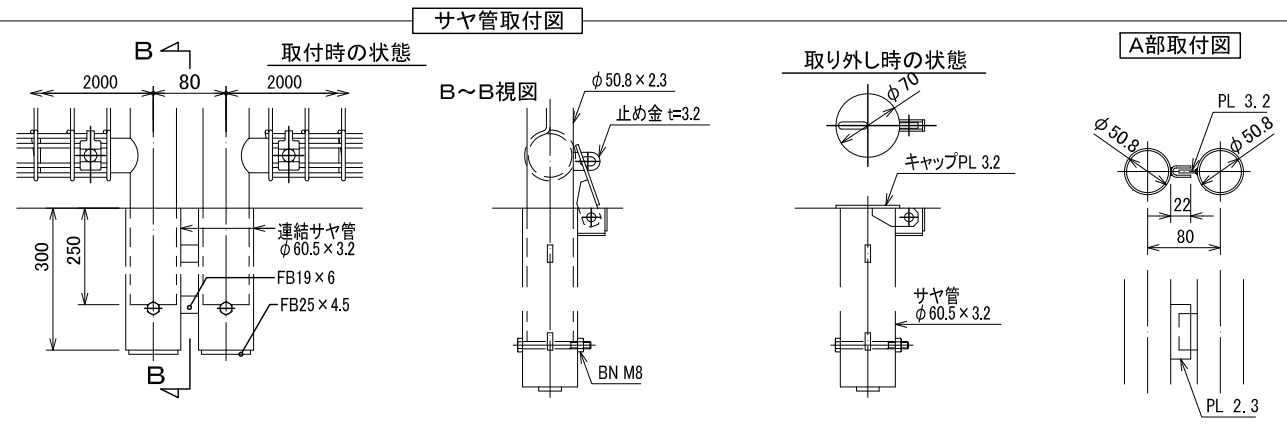
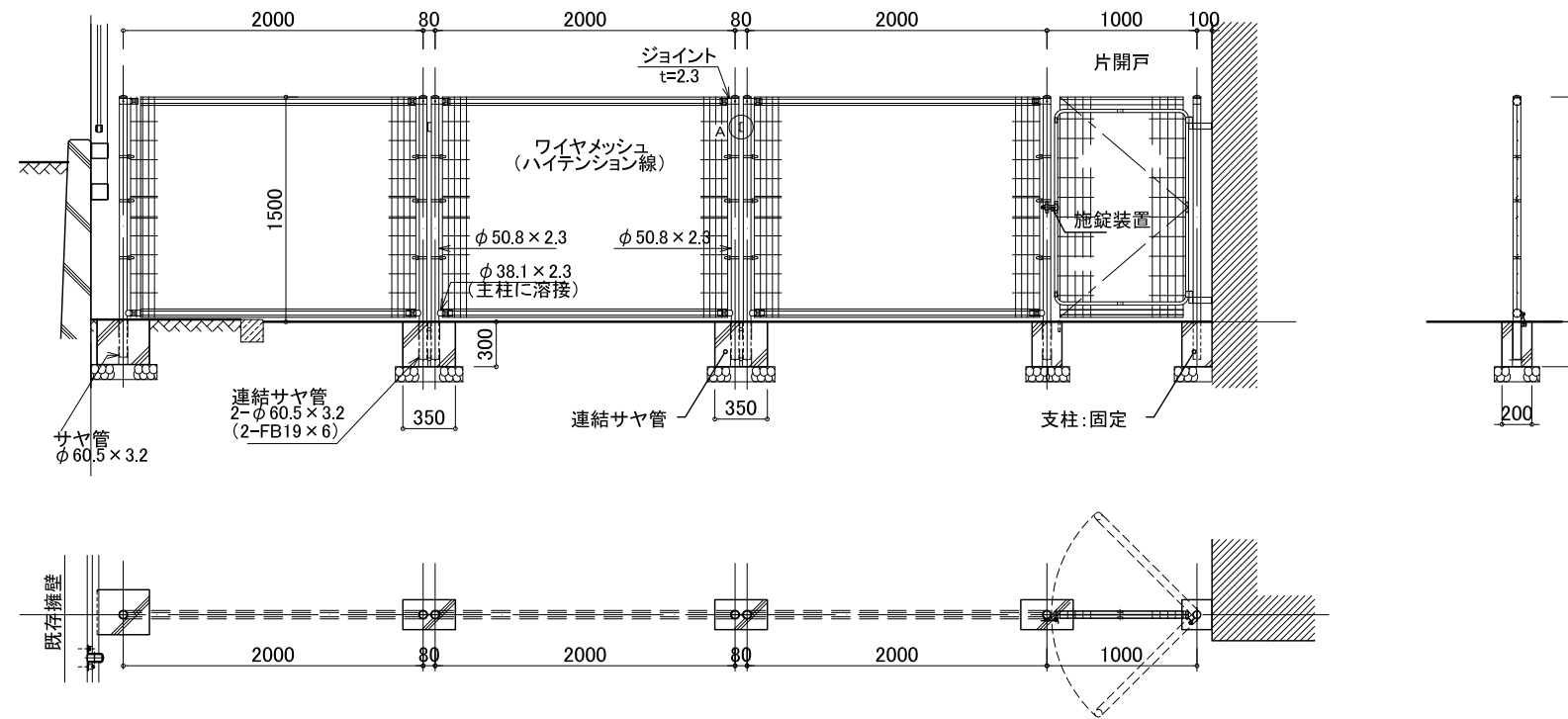
備考

1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とする。
2. 支柱取付バンドは溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装、アンカーボルトは溶融亜鉛めっきのみとする。



F: 取り外し式メッシュフェンス

朝日スチール工業(株)UN-H1500-50(取り外し式)同等品



取り外しメッシュフェンス 設計条件・仕上

設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。  
基礎条件・・・長期許容地耐力 98 kN/m<sup>2</sup> (10 t/m<sup>2</sup>)

備考

1. 外装について

- ・主柱
- ・ジョイント
- ・ワイヤメッシュ
- ・バンド
- ・U型金具
- ・サヤ管及び付属品
- ・ボルト、ナット
- ・・・ 溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・・・ 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
- ・・・ 溶融亜鉛めっきのみ
- ・・・ 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし一部のボルト、ナットは溶融亜鉛めっきのみ

- 2. 本図取り外しフェンスは、構造上ガタツキはやむなし。
- 3. フェンス1ユニットの重量は約23kgとなる。
- 4. 本図取り外しフェンスは現地組立とする。